

明治元年戊辰十一月  
 長州御政府方  
 山縣孫八原白根多由良  
 御上段御銀談付被為  
 下迄候旨御達  
 正饒并領之



明治時代の加島屋

加島屋久右衛門が長州藩主から拝領した、中国・龍泉窯の青磁。  
 明治維新の激動に、加島屋がどう立ち向かったのか。  
 歴史ドラマを彩る名品が発見されました。



(上) 青磁大鉢 (下) 箱と青磁  
撮影：六田知弘

2026年度 期間限定 特別企画  
 加島屋旧蔵

# 青磁大鉢 公開! 5/12(火) ▶ 7/24(金)

## 大同生命の源流 加島屋と広岡浅子 特別展示

入館無料

会場 大同生命大阪本社ビル(四つ橋線肥後橋駅1-A出口直結) 2階 メモリアルホール  
 〒550-0002 大阪市 西区 江戸堀1丁目2番1号

開館時間 火～金曜日 10:30～16:00 (入館は15:30まで)

休館日 土曜日・日曜日・月曜日・祝日、年末年始  
 ※その他事情により臨時休館する場合があります。

詳しくはこちら



「大同生命文書」  
 が大阪市の  
 文化財に指定  
 されました!

# 特別展示 大同生命の源流 加島屋と広岡浅子

2026年度 期間限定 特別企画

## 加島屋旧蔵

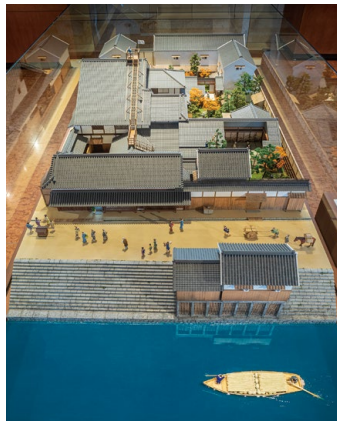
# 青磁大鉢公開!

## 加 島屋旧蔵の名品「青磁大鉢」

中国・龍泉窯で作られた青磁の大鉢(皿)。これは1868(明治元)年に、長州藩主から加島屋八代当主・広岡久右衛門正饒に下賜されたものです。五本爪の龍の文様から、皇帝専用に使われた宮廷品だったことが分かります。この大阪に戻ってきた名品を、当社にて期間限定で公開します。明治維新の激動期に加島屋が繰りひろげた、江戸幕府や新撰組、長州藩との駆け引きをご紹介します。



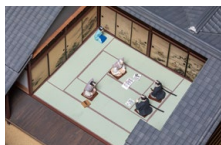
撮影：六田知弘



加島屋本宅 再現模型



特別展示会場 大阪本社メモリアルホール



加島屋本宅模型 奥座敷

## 商 都大坂の豪商・加島屋

1625(寛永2)年に創業したと伝わる加島屋は、世界最先端の金融市場であった堂島米市場の中心的な立場を務めました。その後は大名貸しと呼ばれる全国諸藩への融資を行う金融商人として日本を代表する豪商へと成長しました。

加島屋が活躍した江戸時代の商都大坂と江戸時代の経済を紹介するとともに、当社に残る資料等から再現した精巧な「加島屋本宅再現模型」で加島屋の「商い」や「くらし」をご紹介します。

## 九 転十起生・広岡浅子

大同生命の創業者の一人、広岡浅子。明治維新により経営の危機に陥った加島屋を九転十起の精神で支え、炭鉱、銀行、そして生命保険など多くの事業を手掛ける近代企業へと変革する主導的な役割を担いました。また日本女子大学の設立などにも力を注ぎ、女性の教育や経済的自立の必要性を訴え続けました。

2015年に放送された連続テレビ小説「あさが来た」(NHK)の主人公モデルとなった彼女の生涯と活躍、人となりなどを詳しくご紹介しています。



浅子が成瀬仁蔵に宛てた直筆の書簡【複製】  
(所蔵：日本女子大学)



広岡浅子 (1849-1919)

## 大阪本社ビル メモリアルホールについて

メモリアルホールは、1925(大正14)年から現在の本社ビルへの建替えが行われる1990(平成2)年まで当地にありました。建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズ的设计による大同生命旧肥後橋本社ビルの内外装の一部を用い、当時の様子を復元再生したものです。

出入口上部の飾りのテラコッタ(粘土を素焼きして造った装飾物)は、旧ビルに使用されていたものであり、頭部に飾りのあるテラコッタの柱、およびホール中央壁面のトレーサリー(壁面の飾り)は実物を解体復元したものです。

また、ドーム状の天井は当時のデザインをそのまま復元いたしました。旧ビルに用いられていた優れた実物やデザインを移設・復元したメモリアルホールには、過去を現在に生かし、また未来へとつないでいく願いが込められています。

こちらのQRコードから  
公式サイトへアクセスできます



加島屋  
400年  
特設サイト



「大同生命の源流・  
加島屋と広岡浅子」  
特設サイト

